



# みいつけた!

門学校の多い文教地区であること。留学生やその家族が地域の一員として交流が行われています。



## 肌で感じてほしい

北海道大学では、およそ八十もの国や地域から来ている約八百人の留学生が学んでいます。その留学生たちの生活や学習のお手伝いをしてるのが同大留学生センターです。ここでは、毎月「インターナショナルトーク」を開催しています。これは留学生を講師に招き、主に日本語で母国の歴史や文化、生活習慣などについて語ってもらうもの。平成五年四月から毎月一回開催しており、すでに百回を超えています。



▲北海道大学留学生センターで開催されている「インターナショナルトーク」の様子

中国・内モンゴル自治区をテーマとした十一月二十一日の講師は、言語文化部に通っているポ・バトさん。同自治区出身のバトさんは、モンゴルの歴史や文化などを詳しく紹介していました。その中には、モンゴル語と日本語は文法がよく似ていることや、モンゴル民族の

▶バトさんの丁寧で熱の入った説明に、参加者たちも思わず聞き入っています



◀「留学生たちは母国紹介のために、入念に準備をしてくれました」と、高橋さん



大部分がバトさんと同じ「ポ」という姓なので、普段は姓は使わずに名前だけで呼び合っていることなど、あまり日本では知られていない話題もありました。そのような話題が出るたびに、会場からは、「へえー、知らなかった」という声が上がっていました。  
そんなバトさんの将来の夢は、モンゴルと日本の交流の橋渡し役を務めること。「今回講師を引き受けたのは、そんな夢があるからです。自分たちの文化を日本人たちに理解してもらおうことが、その一歩なんです」と、バトさんは笑顔で話してくれました。  
また、この催しを担当する同センター助教授の高橋彩さんは、こう話します。「この催しの一番面白いところは、留学生と直接触れ合えることです。ガイドブックやインターネットなどからは得られない



▲「モンゴルの民族衣装は鮮やかな色が特徴なんです」と、休憩中も参加者たちと会話を交わすバトさん

ものなんですよ」。  
このだいたいご味を求めて、インターナショナルトークには、同大の学生や区内の人たちだけではなく、区外からもたくさんの方が聴講するためにやって来ます。誰でも無料で参加できるので、興味を持たれた方は、足を運んでみてはいかがでしょうか。異なる国や地域の文化に触れることで、新たな発見があるかもしれませんよ。

## 「インターナショナルトーク」に参加するには??

インターナショナルトークは、毎月第三金曜日の午後二時から五時まで開かれています。参加希望者は当日、直接会場へお集まりください。

お問い合わせ 北海道大学留学生センター (北8西8) ☎(706) 2178